

さんぽみち



連絡先

鶯の木特別出張所

☎ 3750-4241

発行 わがまち大田鶯の木地区推進委員会

子どもたちの笑顔

子どもガーデナー
多摩川台公園

大会長 佐藤 大助

実行委員長 高橋 信作

四月二十六日、良く晴れ上がり薫風かおるこの日、四十一回目を迎えた子どもガーデナーパーティーを開催することができました。

今回、嶺町、田園調布、鶯の木三地区で運営する多摩川台公園は当鶯の木地区の当番年にあたり、私が、大会長を仰せつかることになりました。

三地区の、青少年対策委員を要に、学校、PTA、ジュニアリーダークラブ、ガールスカウト、早朝クラブ、嶺の樹会、鶯商連生青年部、東一自治会青年部、消防署民生委員、そして体育指導員と多数の御協力を得て、実行委員会を結成し、長時間にわたり精力的に準備を重ねてまいりました。当日は参加者三千二百名を数え成功裏に終えることができました。ここにあらためて会場を提供していただいた嶺町小、東調布信用金庫様そして役員をはじめ関係者の皆様

に厚く御礼を申し上げます。この日、多くの子どもたちの笑顔に接することができました。この笑顔は、子どもが住み、働くこの地域の何よりの財産です。さらに笑顔あふれる鶯の木地区の皆様とともに育てていきたいと強く思

った次第です。皆様にもこうした活動に、今後変わりのない御協力ををお願い致します。

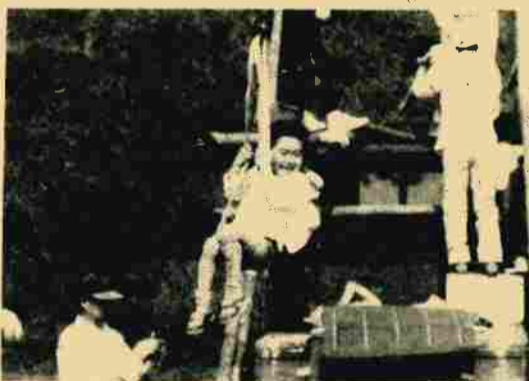
皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。私はガーデナーパーティーのお手伝いを始めて十四年になります。実行委員長になったのは今回初めて、苦労しました。さて例年でしたら多摩川台公園で行なうてい

ましたが、工事で使用不可のため嶺町小学校グラウンドと東調布信用金庫・多摩川河川敷グラウンドを借用し、行ないました。嶺町小学校様には大変お世話になりました。小学校グラウンドをA会場として主にゲームコーナー、信用金庫グラウンドをB会場とし、スポーツ広場に設定しました。そして今年には特に、鶯の木太鼓が素晴らしいです。今回もプラスバンドによる合同演奏を、大森七中と東調布中が約一時間熱演し、大変好評でした。

最後に、関係者の皆様には大変お世話になり、またご苦労をおかけしましたこと、心より感謝します。有難うございました。



浮き袋は陸の上
嶺小PTA会長 近藤好秀



子供達が夢中になって遊ぶ姿は良いものだ。それだけに安全に遊ばせてあげたいと思う。子供達と楽しく時を過ごせるガーデナーパーティー、毎年楽しみにしている。今年も安全委員長と言う立場で参加させて頂いた。本紙特集記事として何か裏話をとご依頼を受けたが、安全委員長とは名ばかりで警備を担当して下さったのは役員の方。会場が二ヶ所に分散したこともあり、警備陣の方々はご苦労された。特に第二会場となつた河川敷では川を控えているだけに気は抜けない。突発的な行動を起こす子供達のこと、危険の想定や安全の確保には限界はない。開催時間中はもとより、開始の前十分から終了後の三十分まで、学校の周囲や土手・川辺をPTAの方々が立ち番で見張る等安全対策に万全を期した。万一に備えて、東調布消防署のご協力を得て救命浮き袋を用意した。

何事もなく無事終了出来たことに安堵したのは私だけではない。準備の段階からお世話頂いた役員の方々に感謝致しております。また、来年も楽しみにしています。

千鳥一丁目五の十九にある千鳥児童遊園は、子供達や地元の人達の間ではブタ公園という名前で親しまれています。公園の中心にブタのベンチがあるからです。春には桜が綺麗に咲き、夏にはお祭りや子供達の山車の休憩場になつて賑わいます。冬には子供達の為に千鳥北町会の人達がもちつき大会をして二百人の子供達にア

ンコ、キナコ、納豆、大根おろし等のもちを作つて喜んでもらっています。これからもブタ公園は、子供達にとつては安心して遊べ、思い出に残る公園になつてくれると思います。

「さくら亭」で気分は最高の桜並木に瀟洒な大田区公衆便所「トイレさくら亭」が出現したのは平成二年。周りの環境に溶け込んだネーミングと清潔さは利用者に好評。「公衆便所ついで言うから汚い」と言つたらすつと綺麗じゃん」と言う声を耳にした。これは事実だ。小生も利用してみてもう思った。心ない落書き損壊も有るが何時も清掃が行き届いている区は維持管理にかなりの労力を費やしている。利用する側も「常に清潔」を心掛けて欲しいものだ。身体障害者対策も万全である。(K・K)

立幅跳び
上体おこし
なわとび

◎B会場プログラム
・ドッジボール
・ポートボール
・空中ブランコ



回覧

わがまち有名人

今回は、千鳥町にお住まいの初代コロムビアローズさんに
思い出を綴っていただきました。

今年には作曲家西條八十先生の生誕百年にあたります。

私は昭和二十六年、コロムビア全国歌謡コンクールで優勝し、翌年四月、先生の作詞「娘十九はまだ純情よ」で覆面歌手コロムビアローズとしてデビューしました。

「哀愁日記」「幸せはどこに」「かりそめの唇」など、いただいた三十数曲のうち半分以上が映画主題歌で、デパートの天女像完成記念曲「まごころの花」も先生の作品でした。

今昔 うつりかわり

上段は六十数年前、田園風景の広がる鶴の木東町会に東一小より第二分教場として発足した東三小の写真です。木造二階建が何とも云えぬ想いです。



開校60周年記念誌「嶺鶴」より



(N・Y)

又、先生には仕事以外でも随分あちこち連れて行っていただきました。

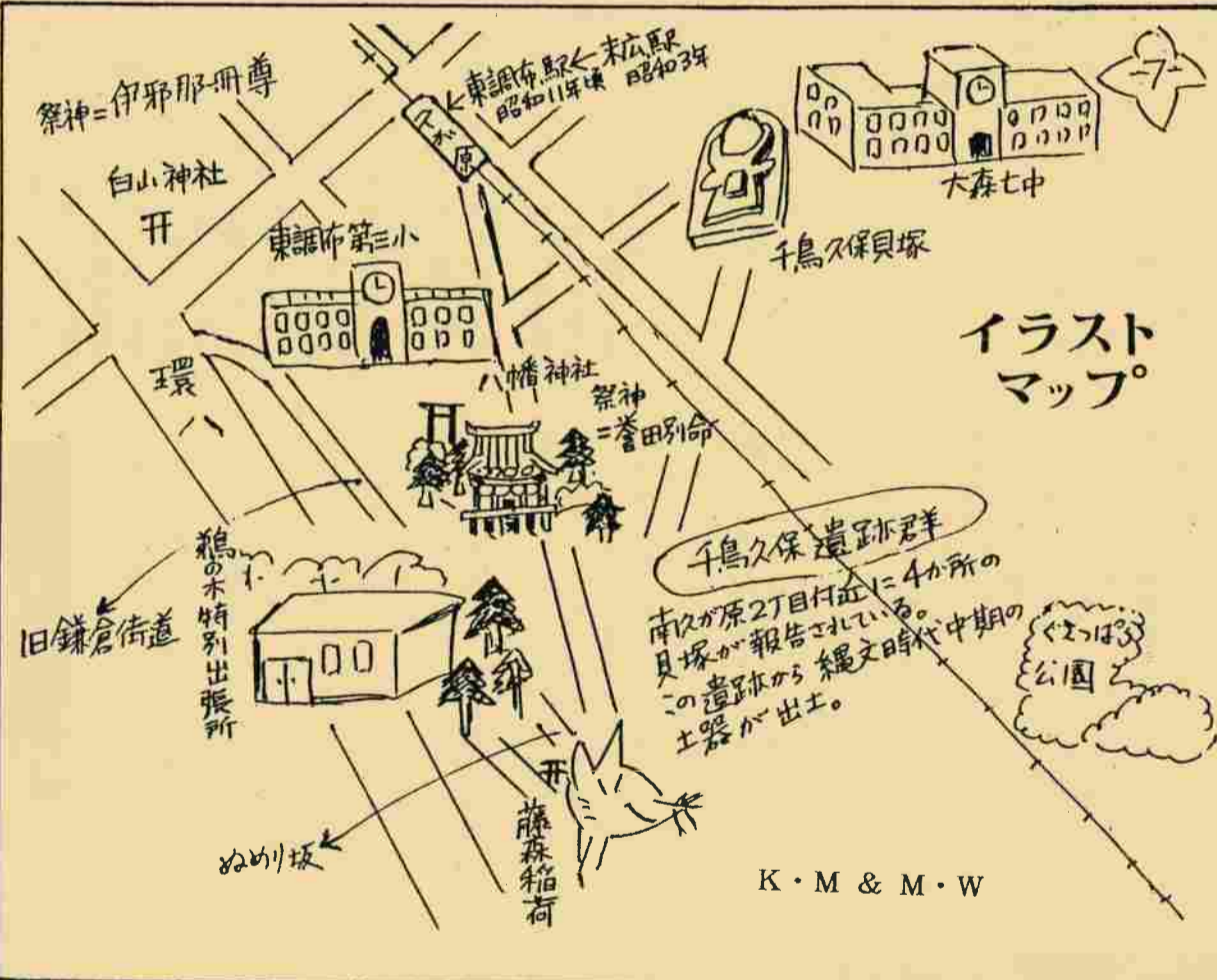
古賀先生、通人さんと四人で鶴飼いに行ったり、軽井沢の別荘ではそれぞれ座布団持参で三本だての映画を観に行ったり……

とにかく私は先生から有形無形の大切なものをたくさんいただきました。素晴らしい詩、そして、先生の優しさ、暖かさ、それはいまでも消えることなく私の心に残って居ります。この世に歌のある限り先生の幅広い作品はいついつとも唄い継がれてゆく事でしょう。

下段は現在の東三小、あらゆる設備を整えた鉄筋三階建、二十一世紀に向け、幅広い分野で活躍してくれる子供達が数多く巣立ってゆくことでしょう。

校庭の桜は今年も満開でした。

イラストマップ



リレーエッセイ

日(秒) 進月(分) 歩

鶴の木三丁目 千葉 栄子

ある時駅の自動改札口で切符を入れ出ようとしたところあの幅の広い帯状の板がバタツと私の前にはだかっつた。え、なにと思わず声を上げそうになった。職員がとんで来て料金不足を告げる。あらそう、すいません。

今迄はすーと見せるだけで通れた改札口も、その度に機械の中を通し、期限切れもばつちり捕えるのである。日に日に変化し進歩して行く世の中にあれよあれよと流されながら、時には戸惑い、時にはこだわりを持ちながら、一歩二歩遅れても仕方ないワ。自分らしく生きて行くために。

次は池田進太郎氏にリレーします。

短歌

南久が原二丁目 石山 春吉

春・鶴の木

いづくより纏ひしものか花びらの
ひとつ舞ひゆく夜の暈に

牡丹散らし庭のみどりを染め替へ
て季節は今日も唇をめくる

我が町に蝙蝠飛びそを追ひて
行けばかくはし葉桜の闇

俳句

南久が原二丁目 岩本 宝造

増明院
作務僧に会釈してより牡丹みる

八幡神社
氏神の子連れ狼犬若葉風

南久が原二丁目 堀越 宏悦
天城路の若葉目に映えバスの中

編集後記

「さんぽみち」第三号をお届け致します。地域の皆様に大きな期待がいただけるような楽しい紙面にしております。よろしくご支援ください。感想、身近な出来事、何でも結構です。ご投稿お待ちしております。

(S・I)

